



# 関中央ロータリークラブ

2019-2020 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2  
 事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
 会長 吉田和也 副会長 高井良祐 幹事 土屋敏幸 クラブ会報委員長 長谷川修

2019~2020 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ  
 「One for all, All for one.  
 協力しあい成長するロータリー！」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1997回例会 2019年11月28日(木)  
 「 C. A 地区大会報告 」 / 担当 会長・幹事

前例会の記録 第1996回 2019年11月9日(土)  
 第34回岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会  
 /担当 インターアクト委員会

司会・進行 関商工高等学校インターアクトクラブ  
 10:30~開会

点鐘

開会の言葉

関商工高等学校 I A C 部長 後藤 瑠菜さん  
 国歌「君が代」「インターアクトの歌」斉唱

歓迎の言葉

関商工高等学校

I A C 部長 後藤 瑠菜さん

みなさん、こんにちは。ようこそ関市にお越しくださいました。私はこの協議会が「お互いの活動を知り、絆を深める場」になるといいと考えています。各校の活動を聴き、その活動報告を中心にお互いが交流し、絆と深めあえたらと思います。その交



流内容を各校に持ち帰り、取り入れられるところは取り入れ、それぞれの学校の活動が更に活発になると素晴らしいと思います。短い時間ですが、他校の生徒とできるだけ多くおしゃべりしてください。学校間の連携が密になり、インターアクトの活動の発展に繋がることを願っています。

関中央RC会長 吉田 和也



各校のインターアクトクラブ、引率の先生方、スポンサーのロータリークラブの皆様、本日は、ようこそ第34回岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会にお越し下さいました。又、ご来賓の東海北陸道グループガバナー補佐 深瀬 清様におかれましては、お忙しい中、お越し頂きまして誠に有難うございます。後ほど、色々ご指導を頂きたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

各校のインターアクトクラブにおかれましては、様々な活動に、励んでおられる事と存じます。後ほど発表を楽しみにしております。又、韓国派遣学生

の皆様もどんな体験談を聞かせて頂けるか楽しみにしております。

このインターアクトクラブの活動というのは、普段の学校での生活や、部活動では体験できない事を、インターアクトクラブの活動を通じて、経験して頂く非常に良い場所だと思います。各高校、活動の内容は様々かと思いますが、奉仕活動を通じて地域の方々と触れ合い、貢献し、繋がりを深め、色々な募金活動を通じて、現在、世の中が何に困って、何を求めているか考え、広く世界を見る良い機会になると思いますし、又、環境整備や清掃活動等を通じて、現在皆様が生活している地域、果てはこの地球がどんな状態なのかを考え、皆様の次の世代、又その次の世代まで健康な地球の環境を繋げていくにはどうしたら良いのかと考え、実践して頂く機会になると思います。又海外の学生とふれあい、他国の文化や生活や教育等を体験して、皆様が社会人となった時に、必ず出会うグローバル社会に向けて、今、学生生活の間に、何を学び習得するべきかを考えて、将来、この日本を牽引していくような人材に育ててもらおう学習の場になれば良いと思っております。

まだその他にも素晴らしい活動があるかとは思いますが、どうか、皆様このインターアクトクラブの活動を、今この学生の時にしかできない貴重な経験、ひらめき、の場所として頂けますようスポンサーをさせて頂くロータリークラブを代表してお願いを申し上げます。歓迎のご挨拶とさせていただきます。

## 関商工高等学校

### 校長 正村 達裕様

みなさんおはようございます。本日はご来賓として東海北陸道グループガバナー補佐の深瀬 清様のご臨席を賜りまして、ロータリアンの皆様、各学校インターアクターの代表の皆さんの参加をえて、この協議会が開催されますこと、ホスト校として心より歓迎申し上げます。各学校においては、インターアクトの活動において、地域の課題解決に取り組み、地域と関わりながら様々な実践がなされております。本日はそういった取り組みについて各学校の活動報告がされると思いますが、そういった良き実践の交



流を通してインターアクトの活動がより一層充実することを願ひまして私のご挨拶とさせていただきます。

## 来賓挨拶

### 東海北陸道グループ

### ガバナー補佐 深瀬 清様

インターアクトとは、国際ロータリーの青少年育成プログラムです。



奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中でも活動する機会を青少年に与えるために結成されるのが、インターアクトクラブであり、その活動を支援するとともに、指導・助言・監督するのがスポンサークラブです。

世界の159ヶ国に存在し、インターアクトクラブ数は24,494クラブ、インターアクターは563,362人、12歳から18歳までの青少年が活動しています。日本においては、ボランティア系のクラブ活動(部活動)としておかれることが一般的ですが、生徒会活動として取り組んで、全校生徒で活動している学校もあります。

現在、国際ロータリー2630地区には、37の高校にインターアクトクラブがあり、34のスポンサークラブに支援頂いております。各インターアクトクラブでは、インターアクトの目標に従い、活動を行っております。ポリオ撲滅のための募金活動やペットボトルのキャップ回収活動、被災した地域への募金活動や救援物資を収集し被災地に送ったり、介護施設や障がい者施設への慰問、公園などの公共施設の清掃活動などのボランティア活動。

もう一つ感じているのは、インターアクトクラブの存在や活動の実態が、あまり認知されていないのではと思われることです。どうか、インターアクトクラブとスポンサーロータリークラブの皆さんが協働していただき、お互いに活動や存在を多くの方にアピールしていただきますようお願いいたします。

## 各IAC活動報告

### 武義高校IAC代表 吉田 悠華さん

武義高校のインターアクトクラブは部活動としてではなく、全校生徒による活動が特徴です。部長は生徒会長が務め、生徒会執行部が総務・企画を担当します。そこからインターアクト委員会や、各種委

員会・部活動・全生徒へ呼びかけて、奉仕活動や募金活動を行ったり、ボランティアスタッフを募集して、地域行事に参加したりします。

本校のある美濃市は、長い歴史があり、文化活動が盛んです。ボランティアが参加する行事が多く、また来年創立百周年を迎える武義高校は、地域との連携も深く、地域住民の学校への期待や応援も大きいものがあります。これらが、本校がボランティア活動を推進できることの背景になっています。

活動内容としては、「ミニ門松製作販売と年末助け合い募金」、「地域清掃活動」、「エコキャップ運動」等の学校独自の活動や、「美濃和紙あかりアート展運営スタッフ」や「障害者支援施設陽光園の文化祭・夏祭りの車椅子介助」等の地域イベントでのボランティア参加があります。それ以外の各種地域イベント等においても、部活動での参加があります。ツアーオブジャパン美濃ステージや産業祭、幼児学級等での吹奏楽部の演奏、合唱部の演奏、書道部のパフォーマンス、介護施設での茶華道部の「納涼お茶会」等、部活動での参加も行っています。

地域との関連として地域のビックイベント「美濃和紙あかりアート展」には、運営ボランティアとして全校から毎年数十名の生徒が参加しています。また、その収益を「年末助け合い募金」にあてている「ミニ門松製作販売」では、14年間継続しています。その材料集めは、生徒だけではなく、地域の人々に孟宗竹や松を寄付していただくなどの援助を受けています。ロータリーからは、飾りつけの小物の援助や、製作現場に訪問してもらいます。販売は、地域の道の駅で販売させてもらいます。市の広報や新聞の地域版でも毎年取り上げていただき、ニュースにしてお知らせしてもらいます。おかげで、毎年購入される方も多く、すぐ売り切れる状態です。

このように地域の方との触れ合いながらの活動が武義高校の特徴であり、強みであると思います。この地域とのつながりをさらに深めていきたいと思えます。

#### **各務原西高校 I A C 代表 河合 麗杏さん**

私たち各務原西高校インターアクト部は34名で活動しています。インターアクト部では、常時活動

として、花壇の整備、挨拶運動を行っています。また、時期的な活動として、募金や各務原特別支援学校との交流を行っています。

まずは募金活動についてです。昨年度は、あしなが学生募金、ユニセフ募金、歳末助け合い募金、ポリオ募金を行いました。あしなが学生募金では、名鉄岐阜駅前で大学生の方と募金活動を行いました。また、学校内では、歳末助け合い募金を、生徒会、インターアクト部員、各委員会委員長で行い、生徒、保護者の方、先生方からたくさんの募金をしていただきました。ポリオ募金ではロータリアンの方たちと、各務原アピタ前で募金活動をしました。今年も同様に募金活動をしています。

次に、学校の環境を整えることで、全校生徒がより気持ちのよい学校生活を送れるように、花壇に花を植えインターアクト部で役割分担をして育てています。夏休み暑い中の水やりは大変でしたが、きれいな花を保つことができ良かったです。

各務原特別支援学校との交流では、昨年と同様に今年も本校で6月に部活動単位で行うスポーツ・文化交流会、9月には文化祭交流をしました。12月の各務原特別支援学校での文化祭に私たちも参加する予定です。また、2月には各務原特別支援学校にてソフトバレーボールやボッチャなどの、スポーツを通じた交流会への参加を予定しています。

また、文化祭では東北・広島・岡山復興支援バザーを実施しました。サイダー、ラスクなどのお菓子を取り寄せ販売しました。大好評で短時間のうちに売り切れの品が続出しました。

この他、岐阜市で開かれる清流マラソンの沿道応援を行いました。

インターアクト部では、一人一人がボランティア活動の意味と重要性を意識し考え、今、私たちができることをやっと思いと思っています。また新たな活動にも挑戦していきたいです。

#### **土岐商業高校 I A C 代表 川島 成美さん**

本校のインターアクトクラブは、奉仕活動を中心に活動を行っています。

私たちは土岐市社会福祉協議会にボランティア登録しており、土岐ロータリークラブ様の支援を受け

て各種のボランティア活動に参加しています。

毎年五月に行われる美濃焼きまつりの会場内では、献血呼びかけのボランティア・ヘルプマークの啓発活動ボランティアに参加することが恒例になっています。1年生の部員が初めて参加する校外ボランティアです。緊張しながらの活動でしたが、多くの方に快く協力していただく中で次第に自信を持つことができるようになってきました。

部員は全員MSリーダーズとしても登録しており、土岐市駅前輪場や地下道の清掃活動の他学校駐輪場内の整備・清掃を行います。

「身近なボランティア活動」を考え、家庭クラブと協力して、通学路の清掃やエコキャップ運動等にも参加しています。地球温暖化防止や世界の子もたちにワクチンを届けるなど、医療活動の支援を目的として、土岐市が行っているにペットボトルキャップの回収活動に協力をしています。

地味な活動ですが、毎年定期的に継続して行うことで、誰かの役に立っていると信じ取り組んでいます。

継続的に行っているもう一つの取り組みは、リハビリボランティアです。障害のある方の運動のお手伝いを、看護師さんの指導のもと週1回、土岐市内で実施しています。私たちのクラブで代々引き継がれているボランティア活動です。私をはじめ参加した時はうまくできるか、かえってご負担にならないかと心配でしたが、回数を重ねるごとにリハビリの流れを把握してお手伝いできるようになりました。また、今年度も、土岐市福祉協議会主催の「夏休み福祉体験学習」に参加してきました。2～3名ずつに分かれて、特老などの施設で入所者さんとの交流を行いました。

9月には、土岐ふるさと福祉村フラインディスク大会のボランティアにも参加しました。大会がスムーズに行われるように、お手伝いできました。

インターアクト部の活動は、継続することに意義があると考えます。継続する活動の中で多くの事を学んでいくことができると思います。先輩方の活動を引き継ぎ、日々頑張っていきたいと思います。

## 多治見西高校 I A C 代表 青山 紗妃奈さん

多治見西高等学校のインターアクトクラブでは2年生17名、1年生19名の合計36名で活動しています。老人ホームや児童館、お祭りやその他のイベントなどを行っています。そこでは、自分たちで考えた遊びや、もともと準備されているものをしたり、子供達と遊ぶこと、料理を手伝うということをしたりしています。また、私達はバルーンアートをしています。リクエストに応じて、その場で作りプレゼントしたり、教えながら、一緒に作ったりしています。部員一人ひとりがレパトリーを増やせるように練習しています。そして私達はバルーンアートだけではなく、新しいことをしたいということで、今年からバトンをすることになりました。しかしあまり練習できていないので、後期からは部員の中から有志としてすることになり、10人ほどで練習し、発表していく予定なので、頑張っていきたいです。

また私達は自分から動き、挨拶もしっかりできるようにならなければならないと思います。私達はボランティアをさせてもらっている気持ちを持つことや、私達が何のために活動しているのかをよく考えることも大切だと思います。それらも心に留めておくことでボランティア先にいつもの感謝を伝えることもできます。また私達もたくさんの活動をする中でやりがいを感じ、インターアクトクラブであることの誇りがもてると思います。

私は前まで募金など人の前で話すことが苦手な中々声を出せず、積極的にできませんでした。しかしインターアクトの活動を通して、積極的に声を出し、人に話かけられるようになり、成長できたと思います。今後副部長として班をまとめ、積極的に活動していきたいと思います。

これからも私達インターアクトクラブでは地域の施設の方や周りに人、お世話になっている人たちのために動き、募金などでは世界中の人々に貢献できるように努めていきたいです。そしてこの多治見西高等学校にインターアクトクラブが誇れるものとなるように活動していきたいと思います。ロータリークラブの皆様、これからもよろしくお願ひします。

## 美濃加茂高校 I A C 代表 長島 万奈さん

私たち美濃加茂高等学校のインターアクトクラブは、ボランティアに興味を持つ生徒や、校内の部活動紹介ビデオ見た生徒が希望して入部してくれるようになり、勉強との両立を考えて頑張っている部活の中でも多人数が所属する部活になりました。授業時間の終了が、コースによって違うため毎日の活動時間のずれがあり全員一緒には活動できませんが、普段は2回にわけてそれぞれ活動をしています。また人数も増えたことから対外的なものも、全員と一緒に活動できるものと一部の生徒がイベントなどに参加するものに分かれて、その様子を教え合う姿が見られるようになりました。今年1年生の入部は4名と少なかったのですが、MS リーダーズとして登録している活動の中心となって生徒会や加茂地区の他の高校の生徒とともに、古井駅の清掃活動や交通安全の啓蒙活動と一緒に活動をしてきています。今年も3回既に行いました。

毎年恒例ですが7月には前平公園での清掃活動を行い、新聞の取材も受け、とても励みになりました。また、ロータリーの方々と一緒に活動する機会であり、声をかけて頂き、学校の様子や進路を聞かれ、どきどきしながら答えているうちに、あっという間に時間が過ぎました。8月には年次大会に出席をし、新しい活動を知り、さらに方法を工夫するうえで、いい刺激を与えられる機会となりました。乗鞍の涼しい気候の中で工作をし、星座について話を聞き、とてもゆったりした時間を過ごせました。全員は参加できませんが、来年も後輩にもぜひ参加してほしいと思います。またこの中・東濃地区の協議会も私たち部員にとって活動を考えるヒントとさせていただきたいと思っています。

1月には美濃加茂昭和村のマラソン大会のボランティアスタッフをやることになっています。毎年学校の部活動単位で行っていて、このように校内でも地域に根ざした活動の幅が広がってきました。私たちも来年度に向け活動内容を検討する時期に入っています。いろいろな活動を部員で話し合い、もっと地域での活動に参加できるように、また部員以外の人たちがボランティアに参加しやすいように、コー

ディネートができるようになりたいと考えています。

## 関商工高校 I A C 代表 松下 あん奈さん

〃

宮木 茜さん

私たちは、インターアクトクラブの活動として、今年度、次のような活動をし、またこれから活動する予定です。

6月、長良川流域一斉環境調査に参加しました。清掃活動を行いながら、関市内の長良川を観察、調査しました。調査の結果、関市内の長良川の水はとてもきれいだということがわかりました。今後も今の状態のまま残していくことができるように普段から気にかけていきたいと思っています。

8月、岐阜県高山市で開催されたインターアクト年次大会に参加しました。自然豊かな乗鞍青少年交流の家で、活動報告や留学生の体験談、ホスト校の発表を通して、新しい発見ができて、またいろいろな考え方を学ぶことができました。他県の生徒との交流を通して、有意義な時間を過ごすことができました。

9月、学校周辺の清掃活動をインターアクトクラブ、家庭クラブ委員、MS リーダーズ、有志の生徒が協力して行いました。地域や学校周辺の清掃を行うことで、地域へ「感謝」し、少しでも「美しい街」づくりに貢献することができました。

今後10月末に開催予定の文化祭では、インターアクトクラブと家庭クラブ委員により、被災地への募金活動を行います。また、11月には、里山保全活動に参加し、下草刈りなどの森林整備を行う予定にしています。

また、今年度は、関中央ロータリークラブの協力のもと、台湾の景文高校と交流活動を行いました。昨年12月に台湾の景文高校を本校生徒8名が訪問し、今年6月に景文高校の生徒10名が来校しました。意思疎通を図ることに苦労しながらも交流を深め、お互いの文化に親しむことができました。思い出に残る貴重な体験となりました。

今年度、以上のような活動を通して、国際交流、環境、ボランティアなど普段の学校生活だけでは経験できない体験をしました。その中で、様々な思いを感じることができ、視野を広げることができまし

た。これからのクラブの在り方については、活動を、一部の生徒だけで行うのではなく、全校生徒による活動へ広げていくことを考えていきたいです。最後になりましたが、今年も多く行事に参加させていただきましてありがとうございました。ご支援していただいた関中央ロータリークラブの皆様にお礼申し上げます。

### 各務原高等学校インターアクトクラブ

#### 【我が校のインターアクトクラブの現状】

##### 活動内容

- ・岐阜駅周辺でポリオ撲滅募金活動
- ・学校内ポリオ撲滅募金活動
- ・メキシコ文化 ピニアータ紹介
- ・英語活動 ALTの先生とのフェアウェルパーティー

#### 【これからのクラブのあり方】

- ・ロータリークラブと共同しての地域貢献活動
- ・異文化理解活動
- ・英語活動

### 韓国派遣学生スピーチ

#### 武義高校 I A C 石原 美鈴さん

##### 『韓国派遣を通して』

現在日韓関係は悪化しており、ニュースでもたくさん話題が上がっているし、行く前に学校の先生や友達、家族にすごく心配されました。海外に行くのは初めてだったし自分自身も正直今韓国に行くのは危険なんじゃないかと不安に思う気持ちもあったけど私は韓国が大好きで憧れの国なのですごく楽しみでした。

私のホームステイ先は私より1つ上のジンという男の子の家でした。国も年齢も性別も違うので、すごく不安でした。しかしジンは日本が大好きで日本語を2年も勉強していて優しくとても話しやすかったです。私はジンになんで日本語を勉強しようと思ったの？と聞きました。ジンは『最初は僕も反日で日本が嫌いだったんだ。でも「のだめカンタービレ」というドラマを見て日本が気になり始めてアニメも好きになって日本をもっと知りたいと思って日本語を勉強し始めた。そしたらいつの間にかこんなに日本が大好きになっていたんだ。』と言ってくれま

した。すごく嬉しかったです。

韓国の年次大会ではゲームをしたりプールに入ったりしました。韓国の子たちは、私に翻訳機を使ってたくさん話しかけてくれました。SNSも交換して今でも連絡をとっています。私は韓国に行く前、韓国の方は反日の方ばかりだと思い込んでいました。しかし韓国に行ってみると5日間私の周りには1人も反日の方はいなく日本大好き！と言ってくれる方ばかりでした。韓国を出る時には韓国でできた友達はみんな『また韓国に来たら連絡してね！』『次、韓国に来た時は私の家に泊めてあげるからいつでもおいでよ！』と言ってくれました。私はその友達に『時間はかかるかもしれないけど必ずまたあなたに会いに来るから待っていて！』と約束して帰国しました。その約束を果たすためにこれから英語や韓国語の勉強をがんばりたいです。貴重な体験をたくさん出来て良かったです。ありがとうございました。

#### 武義高校 I A C 飛佐 美来さん

##### 『文化を学ぶ楽しさ』

言語と文化は最も人間同士を近づけると同時に、最も人間同士を離すものである。私が学んだことは大きく分けて2つあります。

まず、「言語」についてです。私の韓国人パートナーは将来英語の先生を目指しているので英語を流暢に話します。だから、初めてあった日も英語で会話をしてすぐに仲良くなることができました。2日間のみのホームステイでしたが、たくさん話をしました。今まで何気なく英語を勉強してきましたが、英語を学ぶことは世界各国の人と繋がることが出来るとても大切なことなのだ改めて思いました。ホストファミリーは韓国料理を作ってくれたり、洗濯をしてくれたり、韓国のお土産をたくさんもたせてくれました。翻訳機で一生涯懸命話そうとしてくれました。とても不安だった2日間のホームステイが最高の思い出になったのはホストファミリーのおかげです。しかし私は、少しの韓国語でしか感謝を伝えることができませんでした。感謝を伝えきれないことがこんなにも情けなく、悔しいことなのかと思いました。

次に、「文化」についてです。4日目に、イミテー

ションの銃で撃つ体験をしました。日本では、銃に  
関しての法律や憲法があるのでこのような体験はな  
かなかすることはできません。また、大人数での年  
次大会でダンスを盛り上げて声を上げて返事をする  
姿も韓国の方にとっては普通なことなのだと驚きま  
した。食事のマナーなども日本とは異なる文化が多  
くありました。以前私は、文化とは食事マナーや生  
活の仕方だけだと思っていました。しかし、韓国派  
遣を通して、文化とは暮らし全てを意味しているの  
だと気付きました。

この2つの学んだことは必ずこれからの自分を変  
えてくれると思っています。この派遣で出会えた多  
くの人への感謝を忘れず、自分の将来への努力をし  
ていきたいと思っています。

**多治見西高校 I A C 林 京水さん**

### 『文化の違い』

7月24日から28日の5日間、韓国派遣に参加  
させていただきました。初めて言語の通じない国へ  
行き、自分が外国人という立場になったから気づけ  
たこと、今回の派遣で体験したこと、学んだことを  
報告させていただきます。

1つ目は言語についてです。韓国に着いて最初の  
2日間ホームステイをしました。私が喋れる韓国語  
は数えられるほどしかありませんでした。その中で  
ホームステイをすることに日本にいる間は少し不安  
でした。しかし、ホームステイ先の家族はとても優  
しくて、日本語を学校で習っているという高校生  
の子や、翻訳機を使って一生懸命話しかけてくれるお  
父さんやお母さんのおかげで全く不安を感じるこ  
となく楽しく過ごすことができました。また、言葉が  
通じないときはジェスチャーや表情を工夫して伝え  
ました。ここから確かに言語はとても大切です。し  
かし「言葉の壁」というのは、意図も簡単に壊せる  
ものだと身をもって感じました。

2つ目は文化についてです。日本では使い終わっ  
たトイレットペーパーは便器の中に入れて処分しま  
す。しかし、韓国ではトイレの横に設置されている  
ゴミ箱に捨てるのです。これは下水設備が整って  
いないからだと聞きました。だから世界から賞賛さ  
れている日本のトイレや下水技術を韓国に伝えたいで

す。

3つ目は韓国の年次大会に参加しました。夜10  
時にピザとチキンが届いたり、各高校ダンス発表し  
たりと、日本の年次大会とは全く違うものでした。  
韓国には韓国の文化があり良さがあります。同様に  
日本には日本の文化があり、良さがあります、その  
違いをお互い理解して尊重し合うことが現在悪化し  
ている両国の関係を改善する鍵であり、これからの  
国際社会において大切なのではないのでしょうか。

今回の韓国派遣を通して私はテレビで見ているだ  
けではなく、実際にその先へ行けたからこそ体験で  
きたこと、学べたことがあります。観光ではなく交  
流だからこと学べたことがあります。韓国に友達も  
できました。たくさんの人に出会えました。そんな  
貴重な機会を与えて下さったロータリークラブの  
方々には感謝してもしきれません。今回学んだこと  
をこれからのインターアクト活動に生かしていきま  
す。

**多治見西高校 I A C 安藤 聖奈さん**

### 『韓国での発見と交流を通して』

私は韓国版権に参加させていただき、驚いたこと  
や新たな発見がいくつもありました。一つ目は、韓  
国の夜についてです。私はホームステイの日の夜に  
街を歩く機会がありました。その時はすでに夜の10  
時を過ぎていたのにも関わらず、小さな子供連れ  
の人を多く見ました。また、そこから帰ると、家では  
チキンやフルーツが準備されており、夜食だと言わ  
れました。これらのことから韓国の夜は長いことを  
体感しました。二つ目は、学歴社会についてです。  
ホームステイ先の家族と話している中で、韓国では  
学歴がものすごく重要視されるため、大学入試は国  
全体として一つの大切な行事とされていることを聞  
きました。例えば、英語のリスニング試験の時は雑  
音になることから飛行機の離着陸が禁止されてい  
るそうです。他にも、都会のみではあるそうですが、  
入試の日には特別にパトカーがタクシー代わりに  
なり、会場まで送迎をすることがあるそうです。また、高  
校によっては勉強に集中するため、3年生になると  
制服を着なくてよいという決まりがある所があるそ  
うです。三つ目は、食文化です。私はホームステイ

先の家で味噌汁を作りました。韓国にも味噌汁はありましたが、食べ比べをしてみた結果、辛さが全然違っていました。他にもトイレトペーパーを流せないことなど様々な点から日本と韓国では文化や習慣、設備状況などの違いがあることが分かりました。また、交流を通して感じることもありました。私のペアのサンアーは出会って既にどうしていいのかわからなかったときに積極的に話かけてくれ、気づかせてくれました。また2日間一緒に生活する中、翻訳機で訳したであろう日本語で「お前が困ったら私が助けてやる」と片言で何度も読み上げてくれました。日韓関係が良くないと言われる中、韓国に行きましたが、ホームステイ先の家族も友達もとても親切に接してくれました。このことから国の問題や言語が違うということは人と人がかかわる中では大きな問題ではないということを感じました。

一番大切なのは自分が直接かかわる相手と真剣に向き合うことです。

以上のことから、これからグローバル化により海外の方を関わる機会が多くあると思いますが文化や考え方の違いを理解しながら、相手と向き合い友好的な関係を築いていきたいです。

#### **講評 東海北陸道グループ**

**ガバナー補佐 深瀬 清様**

今後は、インターアクトクラブの活動内容を新聞やテレビなどでPRして頂き、知名度を上げ、地域社会での理解を深めるよう努めて頂きたいと思います。

#### **次期開催高校発表**

**関商工高等学校 I A C 部長 後藤 瑠菜さん**

#### **次期開催高校 I A C 代表挨拶**

**武義高等学校 I A C 代表 吉田 悠華さん**

#### **閉会の言葉**

**関商工高等学校 I A C 部長 後藤 瑠菜さん**

#### **閉会点鐘**

**関商工高等学校 I A C 部長 後藤 瑠菜さん**

#### **<次例会の案内>**

第 1998 回 2019 年 12 月 5 日 (木)

「年次総会・懇親会」

担当 会長・幹事・親睦活動委員会